

令和3年度第1回総合教育会議

○開催日時 令和3年6月25日（金） 午前10時30分～午後0時32分

○開催場所 行方市役所 北浦庁舎2階 第2会議室

○出席委員

行方市長	鈴木 周也
教育長	横田 英一
教育長職務代理者	滝 恵美子
委員	石崎 光春
委員	大崎 あい子
委員	明石 延之

○事務局出席者

教育部長	金田 久美子
学校教育課長	八木 峰男
生涯学習課長	大野 秀喜
学校教育課指導室指導室長	金田 正浩
生涯学習課参事	根本 聡美
学校教育課課長補佐	高柳 雅彦

1. 開 会

2. あいさつ

3. 付議案件

(1) 令和3年度 学校教育プランについて

重点施策5つの矢

- 【1】学力向上
- 【2】いじめ・長欠・不登校対策
- 【3】特別支援教育
- 【4】幼児教育
- 【5】基本的な生活習慣の定着，健康・安全教育

(2) GIGA スクール構想の状況について

(3) 学校の働き方改革について

統合型校務支援システム，公会計システムの導入について

(4) 今後のスクールバス運行について

(5) 行方市の郷土教育と歴史文化資料の保存活用について

(6) その他

4. その他

5. 閉 会

○議 事 録

1. 開 会

金田部長から開会の宣言がありました。

2. あいさつ

鈴木市長からあいさつがありました。

横田教育長からあいさつがありました。

3. 付議案件

(教育長) 議事録署名委員に大崎委員を指名します。

(1) 令和3年度 学校教育プランについて

発 言 者	発 言 内 容
大崎委員	1の学力向上について、各校が取り組む中で改善点として多く上がる部分や共通する部分はあるか。例えば、導入なのか教材なのか。学校ごとに評価規準が異なるため、挙がる課題もそれぞれということであればそれでよい。取り組みの中で感じていることがあれば伺いたい。
金田室長	評価からの授業改善について、公開授業を実施しデータを抽出する児童生徒を決めたうえで、評価規準に則りABCで評価した後、教員でどうしたらCがBになるか、A評価だった要因は何か等を協議する。評価して完了ではなく、PDCAサイクルに基づき改善を図る。課題としては、児童生徒を前面に出した授業を目標に進めているが、教員の指示や発問、説明が長くなり、そこから脱却できない状況が続いている。本質的な部分である教科の教材研究について、ワークシートや資料を作成するだけでなく、各教科の本質的な研究の部分まで踏み込めていないと感じた。細かい部分については他にいくつかあるが、大きな課題として前述の部分を改善していく必要があると感じている。
大崎委員	ABC評価とは、事前の評価を授業の中で改善しようという目的ではなく、授業後に規準にあてはめ、Bの子、Cの子にはどんな手立てができたか、という部分を協議、改善するという認識で良いか。
金田室長	そうである。
大崎委員	児童生徒の意欲や積極性の部分は大きく影響するのではないかと思う。また、教材研究についても目的・ねらいを明確にし、改善を進めてほしい。
横田教育長	補足として、評価からの授業改善の目的には、指導室長が述べた部分ももちろんだが、教師としての指導力を身につけること、その結果として子どもたちの学力向上に繋がることがある。評価を意識する観点は4つあり、1点目として授業でのゴールを目指すこと、目的を明確にすること、2点目として評価を意識することにより子どもの躰きが明確になること、3点目として指導と評価の一体化を図れること、4点目として教師の出どころをおさえることである。これらを意識した結果として、授業改善に繋がり、学力向上に繋がるという考えのもと、本市の学校教育プランの重点施策として取り組む。教員の指導力向上へも繋げていけるよう、すべての学校で実施する。
滝委員	学校教育プランは大変よくできている。何をやるかが明確で実践できる形になっ

横田教育長	<p>ている点が特に良い。これを続けていけば、子どもたちの学力向上に効果があるだろうし、教員も取り組み方が見えてくると思う。</p> <p>社会がどう動いているか、就職のためには何が必要かを指導する必要がある。ICT機器への順応力や語学力、プレゼン力は社会に出るとすぐに求められる力である。義務教育のうちから指導し、将来に向けた視点を育んでほしい。</p> <p>本日資料の学校教育プラン重点施策の2ページに掲載しているが、学習指導要領が変化しており、それに対応するキャリア教育は高校まで継続していく。社会性を身につけることは、学校や教員だけの力では困難な点であるため、地域や社会から学ぶ学習プログラムを設け、小学校3年生から高校まで繋げていく取組を実施する。</p>
滝委員	<p>指導要領の内容は以前から変化しており、社会で有能な人材を育てるという目標から社会に必要な資質能力を学校時代に育てるという目標になった。教育プランの中では将来を想定した教育を十分に示してあると思うので、行方市の教員一丸となって取り組めるよう、周知徹底をお願いしたい。</p>
横田教育長	<p>座学や資料のみではなく、実際に社会に出て体験しなければ学ぶことは難しい。様々な職業に就いた方の話を子ども自ら聞き、触れなければ実感は湧かないので、学校だけがキャリア教育を担うのではなく、地域の力を借り、子どもが自然に触れ合う、体験することが豊かな人間性の教育に必要である。教育委員会としても現場の教員への指導助言に力を入れて取り組んでいく。</p>
滝委員	<p>ここまで学習環境が整っている市は他にないと思っているので、能力の高い子はさらに伸ばし、苦手がある子も克服できるよう、全体的な能力向上に努めてほしい。</p>
横田教育長	<p>鈴木市長よりご意見いただきたい。</p>
鈴木市長	<p>確認だが、資料の中にRPDCAとあるが、Rは何か。</p>
金田室長	<p>リサーチの意で使用している。</p>
鈴木市長	<p>キャリア教育、ICT教育のどちらにも関わることだが、どこでも学習できる、どこでも仕事ができるよう、市としても環境を整える努力をしていきたい。</p>

(2) GIGA スクール構想の状況について

発言者	発言内容
明石委員	<p>タブレット及び学習環境の整備大変感謝する。4点ほど質問があるのでご回答いただきたい。</p> <p>1つ目、令和の学校教育の姿としてタブレットを介した対話型学習が挙げられている。本市では土日や長期休業、感染拡大による臨時休業などに対応し、持ち帰りを実施し、生徒教師間、生徒同士、家庭教師間などで繋がりを持つことになると思うが、情報モラルの教育を構想し動いているか。</p> <p>2つ目、タブレット端末は壊れることもあると思うが、その対応分として各校のどの程度予備機が配置されているのか。</p> <p>3つ目、子どもたちのアカウントは年次更新を行うことになると思うが、予算や次年度以降の更新体制はどうか。</p> <p>4つ目、サーバーへのアクセス制限はどうか。教師と子どもが学習しやすい状況が整っているのか。</p>
八木課長	<p>対面的な授業を基本とし、タブレットでの対面型学習は一つのツールとして考えている。</p>

	<p>壊れた場合の対応について、故意でない場合には加入している保険の保証対象となるため、5年間の加入期間の中で無制限に修理が可能である。予備機について、児童生徒の人数減に伴った未使用機が学校にあるため、修理中はそれを使用する。</p> <p>アカウントについて、年次更新が必要である。今年度の更新作業は、業者による対応ではなく、市職員で作業対応を実施した。中学校3年生分を小学校1年生が使用できるよう移行した際は大変であったが、方法の蓄積ができたので今後に生かせる。</p> <p>サーバーへのアクセスについて、個人情報の流出対策としてセキュリティは万全に運用している。</p>
明石委員	<p>タブレットや周辺環境が整ったことで子どもたちの将来的な可能性が高まれば良い。教員は働き方改革を目的に持ち、モチベーションが落ちないようにシステムが拡充されれば良い。</p>
大崎委員	<p>GIGA スクール構想の実現に向けたサポートに感謝する。端末の持ち帰りについて、全児童生徒が持ち帰り学習を実施するのか。</p> <p>家庭の通信環境の確認は必ず実施すべきである。公教育の場なので平等性が問われる。子どもの不安やコンプレックスにならない環境を整えるよう徹底してほしい。7月21日から試験的に実施ということだが、具体的にはどのように運用するのか。</p>
金田室長	<p>全児童生徒が持ち帰る。事前準備として6月19日、20日、7月10日にトラブル等の確認のために持ち替えを実施する。7月21日から30日の期間では、国語、算数・数学、英語を中心にデジタルドリル e ライブラリ、ロイロノート、高学年ではTeams の双方向ツールを実際に使用する。1、2日で学習ドリルを利用した学習、3日目で定着度を確認するというやり方で実施する。</p>
大崎委員	<p>体制がしっかりしていることはよく理解できた。公平に取り組んでほしい。</p>
石崎委員	<p>5年前から思うと大変な進歩である。令和2年度からの実績もあるので、期待したい。開始直後は試行錯誤しなければならないことが数多くあるが、フレキシブルな考えを持ち、課題にはいろいろな方法を使って対応するようお願いする。</p> <p>資料の写真について、国語と英語はロイロノートを活用していると解釈して良いか。</p>
金田室長	<p>そうである。国語は先生が学習シートを作成し、データを取得、学習後に元のファイルに戻すと学習成果の共有が可能になる。</p>
石崎委員	<p>消極的な子どもも参加しやすくなり、ありがたい。</p>
横田教育長	<p>市長よりご意見いただきたい。</p>
鈴木市長	<p>まだまだやらなければと感じることはあるが、環境は整ってきた。体育館やグラウンドの環境整備も進めたいと考えているので、予算行使については調整していきたい。</p>

(3) 学校の働き方改革について

発言者	発言内容
明石委員	<p>学校だけでなく、市職員も働き方改革では苦勞されていることと思う。新聞で職場満足度は高いのか、という問いがあった。過労死は絶対にあってはならない。</p> <p>実態調査を実施してはどうか。職場という組織では性別、年齢が異なるため、改</p>

金田室長	善にはそれぞれが満足しているか、という点を意識する必要がある。人間関係や将来的な部分を意識した改革に取り組んでほしい。
明石委員	調査については、職場の意識調査をアンケート方式で実施する予定、また、学校訪問の中で現場の声を聞いていく。
横田教育長	子どもだけではなく、若手教員の中にも自己有用感が低い方もいると思うので、サポートできる体制作りに取り組んでほしい。
鈴木市長	市長よりご意見いただきたい。
	業務効率化のためにはAI化が必要になる。電話等の受け答えをAI化できる手法も存在する。導入を検討しろということではないが、様々な業務で時間の使い方をコントロールするようお願いしたい。また、法制化の必要性について、問い合わせ内容によっては、法的な知識が必要になるケースもあるので、知識を活用するやり方の検討が必要である。鹿行地区は弁護士が少ない地域ではあるが、今後、要望し相談窓口を設置する等の対応を検討したい。

(4) 今後のスクールバスの運行について

(5) 行方市の郷土教育と歴史文化資料の保存活用について

発言者	発言内容
滝委員	資料の中で、夜刀神伝説の記載があるが、子どもが興味を持つと思うので、もう少し詳細に書いてもいいのではないかと。昔は池の水を飲むことが出来たと聞くので、現在はどうかを含め、興味を持たせるような文章で紹介してほしい。
根本参事	この資料は子どもがタブレットで写真を撮影し、下の欄の説明は子どもたち自身で感想や調べたこと掲載する欄にしている。会議資料は見本として作成したものを掲載した。
横田教育長	子どもたちが撮影した写真はネット上に公開されるのか。
根本参事	公開されない。
大崎委員	素晴らしい取り組みなので、学校によくPRし、協力しながら取り組んでほしい。
横田教育長	市長よりご意見いただきたい。
鈴木市長	地元のことに興味を持ってもらう取り組みとして有効だと思う。津澄小を活用した歴史館の整備にご協力いただき感謝する。

4. その他

(次回総合教育会議の開催について)

5. 閉会

金田部長から閉会の宣言がなされました。